

# 青空見聞塾スタンダード

より良い活動をするために

青空見聞塾スタンダードは、青空見聞塾の活動に参加するにあたり、知っておくべき基本的な認識と行動のノウハウです。

このスタンダードは、新しい決め事やノウハウの変更・追加時に新しく更新されます。

## 【更新履歴】

令和2年3月1日 更新

令和4年4月1日 更新

令和5年1月1日 更新

令和5年6月1日 更新

# 目次

【前提】組織の定義	…… 3P	インストラクターについての定義	…… 17P
【前提】集団とは	…… 4P	「有償ボランティア」と	…… 18P
【前提】ソーシャルビジネスとして	…… 5P	「給料をもらって働く労働」の違いを認識	
【前提】青空見聞塾の決めごと	…… 6P	ボランティアと労働の違いについての理解	…… 19P
【前提】ゲストとキャストの認識	…… 7P	青空見聞塾 Members Service(会員特典)	…… 20P
【前提】会員の種類について	…… 8P	会議の種類～意思決定及び、研修	…… 21P
【前提】運営組織体制～フロー図	…… 9P	会議についての決め事	…… 22P
青空見聞塾の目的	…… 10P	経理についての決め事	…… 23P
当法人が選択する非営利活動	…… 11P	プログラム企画・精算に関する決め事	…… 24P
活動の種類	…… 12P		
3つの運営理念	…… 13P		
青空見聞塾ビジョン	…… 14P		
キャストの心得	…… 15P		
ボランティア活動の考え方	…… 16P		

## 【前提】組織の定義

組織とは、ある**特定の目的を達成**するために公式に規定された集団の集まり

## 【前提】集団とは？

集団とは、ある**特定の目的を達成**するために形成された、複数の個人の集まり

単に何人かが集まっただけの状態では集団とは呼ばない

# 【前提】ソーシャルビジネスとして

青空見聞塾は、**ソーシャルビジネスとして目的を持って活動する組織**です。

ソーシャルビジネスとは、**社会問題の解決を目的としたビジネス**のこと。

環境・地域活性化・少子高齢化・福祉・生涯教育・まちづくりなどの社会的課題への取り組みを、持続可能な事業として進めていくことで、地域の自立的発展、雇用創出につながる活動としても有望です。

最大の特徴は寄付金などの外部資金に頼らず、自らが事業収益が上げながら継続的に課題解決に取り組むことです。

## 【前提】青空見聞塾の決めごと

青空見聞塾では、  
体験者・受講者・利用者を「**ゲスト**」と呼称し、

受入側であるインストラクター・コーディネーター・法人職員、執行役員を「**キャスト**」と呼称する

# 【前提】ゲストとキャストの認識

## (ゲスト)

1. 体験者
2. 受講者
3. 利用者
4. 賛助会員

## (キャスト)

※ キャストへの参加資格は賛助会員以上

1. 正会員
2. 執行理事(経営責任役員)
3. 監事(会計監査役員)
4. マネジャー(総務・職員)
5. コーディネーター
6. インストラクター
7. インストラクターアシスタント
8. 環境整備労務協力者

正会員

賛助会員以上

# 【前提】会員の種類について

## 1. 正会員

正会員は、事業活動に参加し、総会で議決権を有します。

また、その正会員より執行理事3名と監事2名を選出し、当法人の経営を執行します。

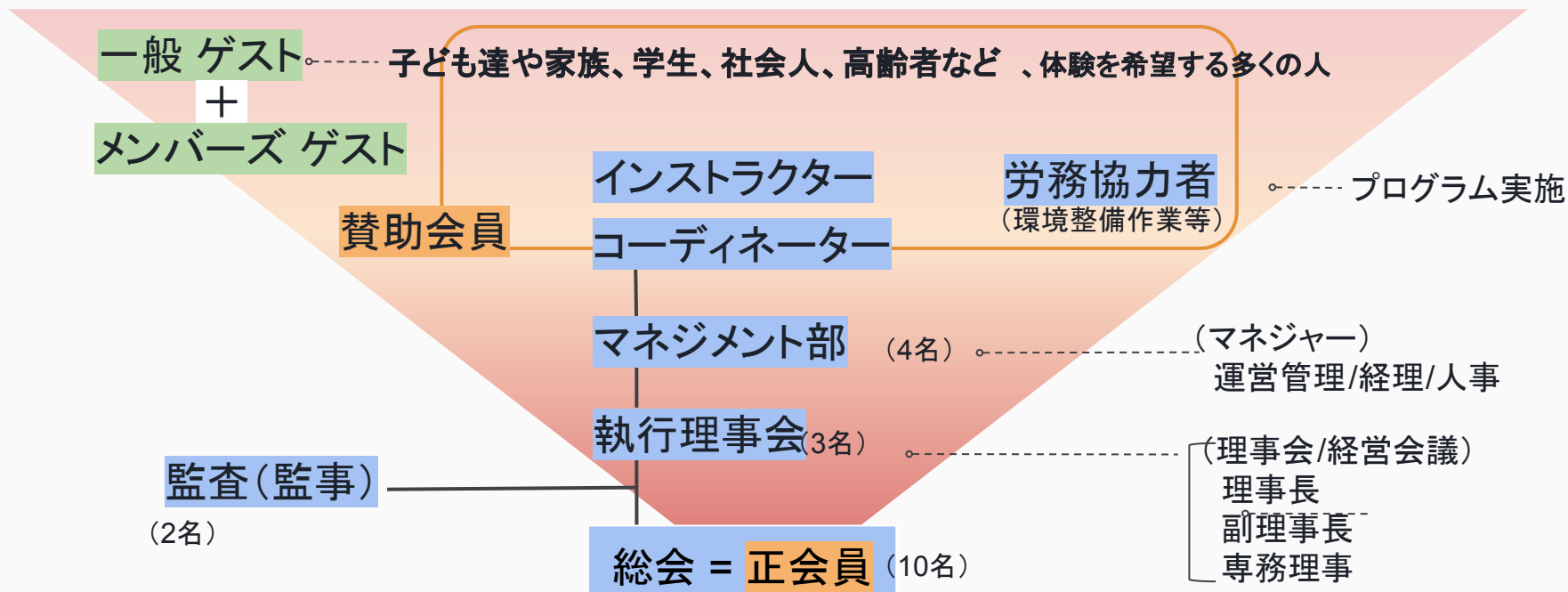
## 2. 賛助会員（青空見聞塾Members）

賛助会員は、事業活動にキャストとして、またはゲストとして事業活動を活用する会員。総会で議決権は有しない。



ソーシャルビジネスとして、社会の一役を担い貢献する三角形

# 運営組織体制 フロー



# 青空見聞塾の目的

この法人は、学術、文化、芸術、スポーツ振興や自然体感レクリエーション活動等を通じて家族や仲間をはじめとする多くの人たちとの交流の場をつくり、人や自然とのつながりを深めることで豊かな心と健康を育むことを目的とする。

学校教育や地域・地域産業との連携も図りながら、将来を担う子ども達の健全育成に繋がる活動と自然環境の学びの場とします。

# 当法人が選択する非営利活動

1. 子どもの健全育成を図る活動
2. 環境の保全を図る活動
3. 社会教育の推進を図る活動
4. まちづくりの推進を図る活動
5. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
6. 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
7. 国際協力の活動

# 活動の種類

1. 環境学習事業
2. 自然体験エコツーリズム事業
3. 国際交流事業
4. 子育て支援事業
5. 健康生活サポート事業
6. 生涯スポーツ振興事業
7. 芸術文化推進事業
8. 持続可能な地域づくり事業

# 3つの運営理念

## 【健康経営】

気軽に身体を動かすことを楽しんだり、子供から大人までの世代間交流をはじめとした様々な取り組みを通して、地域の健康経営に寄与します

## 【共生対流】

都市や世界と農山村が交流し、それぞれに暮らす人達がお互いの地域の魅力を分かち合い、「人、もの、情報」を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現を目指します

## 【コミュニケーション】

家族や地域、新たな出会いなどの人と人、人と自然など、楽しく明るくふれあえるコミュニケーションの場づくりを常に心がけます

# 青空見聞塾ビジョン

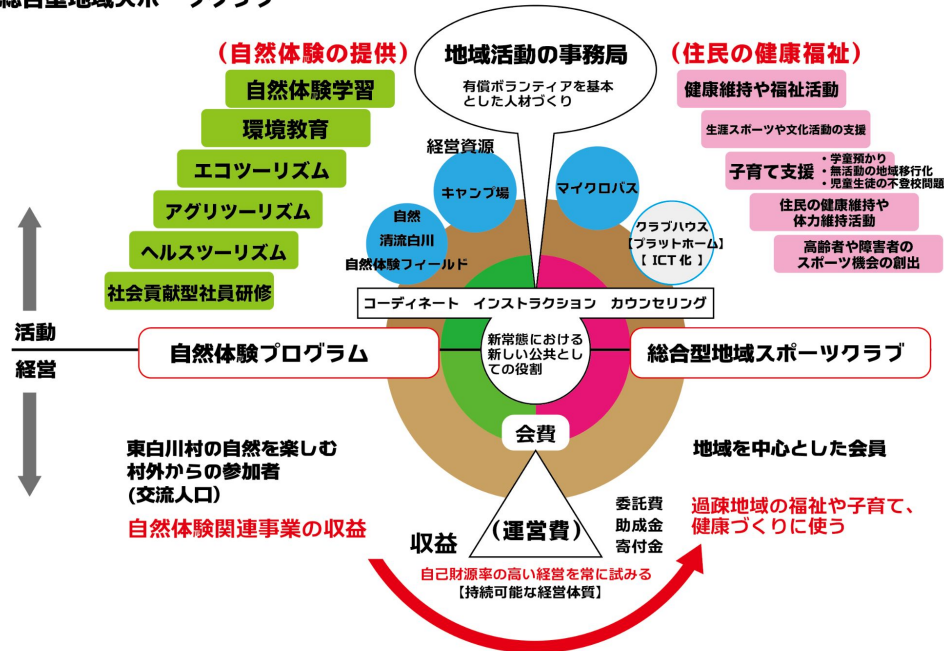
【2002年～2004年】過疎化する中山間地の未来をなんとかしようと地域づくりワークショップを3回と当時の小中学生と村民に対してアンケート調査を行いました。

ワークショップとアンケートのテーマは、どちらも「村の誇れるものは何？」と「村づくりのアイデア？」の2点でした。

数多く出された思いとアイデアのなかより何か一つは実現させようと選ばれたものが、「東白川村の美しい自然を活用して自然体験学校を作る」でした。

そのアイデアを実現させるため、2年がかりで事業計画を作成。その成果が青空見聞塾ビジョンであり、現在までの指針となっており、ビジョン成熟までいま一步のところまで来ています。

## 自然体験プログラム 総合型地域スポーツクラブ の2本の柱で持続可能経営を目指す青空見聞塾ビジョン



# キャストの心得

- キャストは、前頁の**3つの運営理念**を心がけ、ゲストとのコミュニケーションに努める
- 一人ひとりが当事者意識を持ち、実践的な知恵・知識・行動を持って、その活動の起業や育成、また、課題の発見や改善・解決に務めながら、協働のなかでチーム運営を行う
- より良い運営を行うため、感じた課題や懸念を言葉に出して仲間に伝えていく、解決につなげていく
- 毎月、青空見聞塾スタンダード(ノウハウ)を1つは学ぶ
- キャストは、当法人やその事業がどこへ向かっているのかを確実に知って、共有してチームを育みます

# 青空見聞塾のボランティア活動の考え方

青空見聞塾のボランティア活動(有償・無償)は、  
**自発的な意志**に基づき、自身のスキルや経験を活かして、  
キャストとしての活動を通して人や社会に貢献する



# インストラクターについての定義

役割	資格について	内容
マネジャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>当法人の目的と理念、使命を理解し、その活動を推進するため、理事会が任命する経営能力を有する専門的な人材若しくは、JSPO公認クラブマネジャー資格保有者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マネジメント / 人材育成</li> <li>コンプライアンス教育 / 安全講習</li> </ul>
アシスタントマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ会員が充実した活動を送ることができるようクラブマネジャーを補佐し、運営のための諸活動をサポートする 人材もしくは、JSPO公認アシスタントマネジャー資格保有者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブマネジャーの補佐</li> <li>経理</li> <li>会員管理</li> </ul>
コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>JSPO公認コーチングアシスタント資格保有者(公認スポーツリーダー資格取得者)</li> <li>自然体験プログラム 20時間以上と各種プログラム 30時間以上の合計 60時間以上の経験を有するもの</li> <li>コーディネーターアシスタント1回以上の経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インストラクター責任者</li> <li>自然体験プログラム及びスポーツプログラムの企画・実施・精算報告</li> </ul>
インストラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種プログラにおいて 20時間以上のアシスタント経験を有するもの</li> <li>スポーツ安全研修とコンプライアンス研修の受講</li> <li>本人の意思確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然体験プログラムインストラクター</li> <li>スポーツプログラムインストラクター</li> <li>文化活動インストラクター</li> <li>グラウンドキーパー / オフィスワーク</li> </ul>
インストラクターアシスタント	<ul style="list-style-type: none"> <li>青空見聞塾スタンダードを精読し、自発的な意思に基づき自主的に参加し、インストラクターを補佐するもの</li> <li>当法人の実施する自然体験プログラム及びスポーツプログラムにおいて、インストラクターを目指して研修するもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種プログラムにおけるインストラクター補助</li> <li>インストラクター実務経験期間</li> </ul>

# 「有償ボランティア」と 「給料をもらって働く労働」の違いを認識

有償ボランティアは、給料をもらって主従関係の下で働く労働とは違います

有償ボランティアとは、**自発的な意志に基づき他人や社会に貢献することを目的に自主的に参加するものです**

どのようなものかを正しく理解して活動に参加しましょう

# ボランティアと労働の違いについての理解

ボランティアとは？	労働とは？
<p>ボランティアとして働く場合は、 <b>自発的な意志に基づき他人や社会に貢献することを目的に自主的に参加</b>するもの</p>	<p>アルバイトや労働として働く場合は、 使用従属関係下において労務契約のもとに 労働者として労務に従事するもの</p>
<p>※ 青空見聞塾の報酬に関する考えの範囲(無償ボランティア)0円～(有償ボランティア)1,700円迄</p> <p>注) 青空見聞塾では、その活動において有償ボランティアを基本とする。 その活動の報酬・謝礼や交通費などの支払いとしての1700円/hを上限目標とし、 うち、報酬金額の30%を一般管理手数料として当法人運営の経営管理経費とする (補足説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 有償ボランティア報酬単価の範囲＝1円/h～1700円/h</li> <li>② 新規事業初期段階においては無償ボランティアから始まり、協働する関係キャスト全ての創意工夫により有償ボランティア化してゆく</li> </ul>	<p>※ 報酬に関する考え方 労働基準法第9条の労働者であるとして最低賃金法の適用 対象(岐阜県最低賃金910円～令和4年10月1 現在)</p>
<p>※ 働き方に関する考え方 一人ひとりが当事者意識を持ち、実践的な知恵や知識、行動を持って、全員運営で活動を行う</p>	<p>※ 働き方に関する考え方 労働者は決定された指示に従い行動する</p>

# 青空見聞塾 Members Service(会員特典)

- かるすぽクラブ無料利用
- 陸スポクラブ無料利用
- マイクロバスの利用（利用規定あり）
- 会報の配布
- キャストとして有償・無償ボランティア活動への参加
- 会員向けツアーイベントの案内
- 体験プログラムやツアーの企画
- ボランティア証明書の発行
- 利用割引券の配布

# 会議の種類

【意思決定】**総会**（通常総会/臨時総会）

【意思決定】**理事会**（年複数回開催）

【経 営】**経営会議**（毎週2～3回開催）

【研 修】**コンプライアンス会議**（年2回開催）

【研 修】**スポーツ(プログラム)安全会議**（年3回開催）

【研究企画】**障害者スポーツ・プログラム研究会議**（年複数回開催）

【研究企画】**子育てにおける社会問題の解決会議**（年複数回開催）

# 会議の決め事

## 【キャストの心得 2項】

- 一人ひとりが当事者意識を持ち、実践的な知恵・知識・行動を持って、その活動の起業や育成、また、課題の発見や改善・解決に務めながら、協働のなかでチーム運営を行う
- より良い運営を行うため、感じた課題や懸念を言葉に出して仲間に伝えていく、解決につなげていく

出席者は、「キャストの心得～14頁参照」の特に左記載二項を意識し、より良い運営を積み重ねる為の会議を行う

- 会議時間は、基本2時間とする
- 開始の挨拶で始まり、閉会の挨拶で終わる
- 閉会10分前には、次回の検討事項を決め告知する

# 経理についての決め事

- 月締め＝毎月末日締め、翌月5日支払い
- 週締め＝毎週日曜日締め、翌週月曜日処理
- 経理作業工程順序
  1. 報告書提出
    - 1) 活動報告書
    - 2) 領収書若しくは、立替報告書
    - 3) プログラム精算書
  2. 仕訳(振替伝票記載)
  3. 会計ソフト入力

# プログラム企画・精算における決め事

プログラムの企画・実施・精算の責任者は、コーディネーター 若しくは、コーディネーターからの委託を受けたインストラクターが務め、責任を持って完了させるものとする

## 【プログラム実施手順】

1. プログラム表・予算書の作成
2. 経営会議提出→検討→決済
3. プログラム実施
  - a. キャスティング
    - i. コーディネーター
    - ii. インストラクター
    - iii. 労務協力者
    - iv. ボランティア
  - b. 準備
  - c. 実施
  - d. 精算
4. 経営会議報告
5. プログラム精算書を経理へ提出
6. ファイリング